



平成 21 年 4 月 20 日

各 位

会社名 株式会社 フジトミ
代表者名 代表取締役社長 細金英光
(JASDAQ・コード 8740)
問合せ先 取締役管理本部長 新堀博
電話 03-3209-5500

平成 21 年 3 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 20 年 5 月 15 日付当社「平成 20 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正

(1) 連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	2,100	△180	△105	△170	△24 円 78 銭
今回修正 (B)	2,018	△467	△392	△477	△69 円 57 銭
増減額 (B-A)	△82	△287	△287	△307	—
増減率	△3.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	2,255	△546	△465	△775	△113 円 06 銭

(2) 個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	1,440	△180	△100	△145	△21 円 14 銭
今回修正 (B)	1,217	△351	△271	△296	△43 円 28 銭
増減額 (B-A)	△223	△171	△171	△151	—
増減率	△15.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	1,593	△415	△328	△612	△89 円 28 銭

2. 修正理由

(連結)

当社グループは、平成 21 年 3 月期の業績予想（予想値は投資関連サービス事業のみの数字・・・公表時に営業を行っていなかった太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業は含まない）にあたり、商品先物取引市場の規模縮小を平成 20 年 3 月期（全国商品取引所の出来高合計の前期比減少率 16.5%）並程度と想定し、営業収益を前期比 6.9%減の 2,100 百万円、営業費用を前期比 18.7%減の 2,280 百万円、営業損失を 180 百万円と予想いたしましたが、当連結会計年度の全国商品取引所の出来高合計は 4,631 万枚（前期比 34.8%減）と、商品先物取引市場の規模縮小は予想以上に激しく進み、特に、第 4 四半期（3 ヶ月）の出来高は 968 万枚（前年同期比 40.5%減）と大きく落ち込みました。

商品先物取引の市場規模の急速な縮小に伴い、当連結会計年度の投資関連サービス事業の営業収益は 1,881 百万円（前期比 16.6%減）と予想を大幅に下回り、営業費用は 2,288 百万円（前期比 18.3%減）とほぼ予想水準まで削減できたものの、営業損失は 407 百万円と予想を大幅に上回る損失となる見込であります。

また、当初業績予想開示後に営業を開始した太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業（子会社(株)エコ&エコで平成 20 年 7 月から営業開始）（業績への影響が軽微なものと考え業績予想の修正は行っておりません）につきましては、営業開始後の景気悪化により、売上高 136 百万円、営業損失 63 百万円と想定を上回る赤字となる見込であります。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、営業収益 2,018 百万円、営業損失 467 百万円、経常損失 392 百万円、当期純損失 477 百万円と予想を大幅に上回る赤字となる見込みであります。

なお、2 期連続で赤字になった子会社丸梅(株)の繰延税金資産を全額計上しないこととし、法人税等調整額 50 百万円を計上する予定であります。

(個別)

当社個別業績につきましては、平成 21 年 3 月期の営業収益を前期比 9.7%減の 1,440 百万円、営業費用を前期比 19.4%減の 1,620 百万円、営業損失を 180 百万円と予想しておりましたが、連結と同様に商品先物取引市場の予想以上の縮小で、営業収益が 1,217 百万円（前期比 23.6%減）と大幅に予想を下回りました。営業費用は、希望退職者募集など人件費の抑制を中心に圧縮を進めた結果、1,569 百万円（前期比 21.9%減）と予想以上の削減実績となったものの、営業損失は 351 百万円、経常損失は 271 百万円、当期純損失は 296 百万円といずれも予想を上回る損失となる見込であります。

(注) 上記に記載した数値は、現在までの集計結果に基づく速報値で、会計監査人による監査前であるため、後日開示する通期業績とは異なる場合があります。

以 上